

平成30年度 事業報告

公益社団法人 横浜歴史資産調査会

平成30年度事業の概要

歴史を生かしたまちづくりに大切な歴史的資産を都市計画の視点から戦略的に調査・保全・活用を開始してから30年を経過した。平成30年度も歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を生かした魅力溢れるまちづくりに向けて歴史的資産の調査研究をはじめ、保全・活用を目指した歴史的資産の取得等の保護事業を積極的に実施した。

さらに「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために、広く市民や専門家を対象にセミナーや講演、シンポジウム等を開催した。

併せて、「歴史を生かしたまちづくり」を円滑に行うための普及啓発、人材育成事業を行った。

平成30年度において実施した具体的な事業は次のとおりである。

1. 歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）

（1）歴史的建造物保全・活用計画関連調査等

（ア）歴史的建造物保全・活用関連調査

歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を保全・活用するため調査を実施した。調査は現地での歴史的資産の現状把握及び所有者へのヒアリング、文献調査、写真撮影等である。調査結果は、当公益団体の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり推進事業」に活用するとともに、横浜市認定並びに登録歴史的建造物等への具体的な保全・活用をするために役立てることとした。

<自主調査>

① 旧湘南電鉄（京浜急行）瀬戸変電所の構造・地盤・振動特性調査（横浜市金沢区）

当公益団体が京浜急行電鉄より寄贈を受け保存・活用計画を実施するに当たり、平成29年度は建屋のコンクリート等の耐震診断調査及び現況把握調査を行ったが、平成30年度は建物の構造計画及び地盤並びに建物の振動特性等の調査を行った。調査の結果、建屋は強固な地盤上に建設されていることが判明した。

調査者 西澤 英和 氏（関西大学保存工学研究室 教授）、
松田 敏 氏（関西大学耐震工学研究室 教授）ほか

② 旧倉石忠雄家住宅現況把握調査（長野県千曲市）

長野県北信地区の生糸や絹織物集散地として横浜と歴史文化的関係の深い千曲市稲荷山地区（国重要伝統的建造物群保存地区）にある旧倉石忠雄家住宅（元衆議院議員・労働大臣、農水大臣を歴任）の国重要文化財指定に向けての現況把握調査を千曲市歴史文化財センターの指導で行った。

調査者 後藤 治 氏（工学院大学理事長）、吉澤正己 氏（建築史家）、矢島宏雄 氏（千曲市歴史文化財センター所長）ほか

③ 旧モーガン邸復元再生調査（藤沢市大鋸）

「歴史を生かしたまちづくり相談室」の案件である。不審火で焼失した旧モーガン邸の再生を目指し、平成29年度に実施した復元再生計画調査の結果を踏まえ、再生に向けた調整を所有者である藤沢市、（公財）日本ナショナルトラスト（以下JNT）と調整した。

特に、JNTとは同財団が所有する土地等について、当公益団体への譲渡に関する調整を、弁護士・司法書士の協力を得て行った。

協力者 尾谷恒治 弁護士、谷口貴則 司法書士（共に早稲田リーガルコモンズ法律事務所）

＜受託調査＞ 歴史的建造物の保全計画案等の検討 [横浜市受託事業]

① 歴史的建造物の概況調査

「歴史を生かしたまちづくり」において保全等が必要なものについて、現地調査や概況調査票を作成した。

- a. 横浜外防波堤南灯台及び北灯台(中区)
- b. ハンマーヘッドクレーン(中区)
- c. 横浜税関本関庁舎(中区)
- d. 旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)(金沢区・認定/市特定景観形成歴史的建造物)
- e. 軽部家門及土蔵(保土ヶ谷区)
- f. 旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用B号倉庫及びC号倉庫(中区)
- g. 横浜貿易協会(中区)
- h. 岸谷一丁目3-14番館(鶴見区)
- i. 馬車道大津ビル(旧東京海上火災保険ビル)(中区)

調査者	中藤誠二(当公益社団 社員)	他	a, b
	吉田鋼市(当公益社団 副会長)		c, f, g, i
	大野 敏(当公益社団 理事)		d, e
	内田青蔵(当公益社団 社員)		h

② 登録及び認定歴史的建造物等の候補対象調査

横浜市登録または認定歴史的建造物の候補対象の所見作成を行った。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| a. 吉野橋(震災復興橋梁) | 中藤誠二(当公益社団 社員) |
| b. 横浜外防波堤南北灯台 | 中藤誠二(当公益社団 社員) |
| c. 井土ヶ谷上町第一町内会館 | 内田青蔵(当公益社団 社員) |
| d. 横浜市庁舎 | 吉田鋼市(当公益社団 副会長) |

③ 歴史的建造物に関する保全・活用計画の変更案の監修

横浜市の認定候補と認定歴史的建造物の保全活用計画の策定、変更案を作成した。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| a. 旧横浜生糸検査場附属生糸織物専用B号倉庫及びC号倉庫(変更) | 監修: 吉田鋼市(当公益社団 副会長) |
| b. 吉野橋(策定) | 監修: 中藤誠二(当公益社団 社員) |
| c. 横浜山手聖公会(変更) | 監修: 関和明(当公益社団 理事) |

④ 戦後建造物の評価に関する制度等の検討

検討にあたっては、嶋田昌子さん(横浜市歴史的景観保全委員)、吉田鋼市氏、後藤治氏へ戦後建築の評価基準についてお考えを伺った。これを基に評価基準に加えるべき視点、評価の対象となる具体的な建造物、保全方法の考え方についてまとめた。

(イ)歴史を生かしたまちづくり相談室の実施

歴史を生かしたまちづくり推進事業を円滑に進めるために、より広く市民等から関連の情報を集める相談室を開設している。

平成30年度の新規相談は、旧長濱検疫所一号停留所（横浜市金沢区）、初代神奈川県衛生研究所（現・神奈川県文化財資料保管庫 横浜市南区）の2件の相談が寄せられ、当公益社団、横浜市の担当部署と定例会議を開催し、その対応等の検討をした。

また、平成29年度に寄せられた細野燕台茶室（鎌倉市）、旧ライジングサン横浜本社ビル回転扉（横浜市中区）については、引き続き検討を行い、専門家等の協力の下、調査を実施するほか、保全・活用に向けた具体的なアドバイスを行うなど成果が生まれた。

特に、旧ライジングサン横浜本社ビル回転扉の保全活用については、現所有者である「エクステ山下公園管理組合」の依頼により、同回転扉の歴史解説サインの制作設置を実現した。また、細野燕台茶室については、鎌倉市と連携し、具体的な保全の方向性を所有者に提案し、継続して対応を行った。

(ウ)俣野別邸庭園内歴史的建造物の助言・指導業務

〔公益財団法人横浜市緑の協会受託事業〕

平成29年4月から公開された「俣野別邸」（横浜市戸塚区）の管理運営に関し、アドバイス等を業務として行った。併せて、同邸内職員等に向けた研修セミナー、市民向け歴史講座、展示やコンサートなどのイベントの企画調整、実施の運営協力などを行った。

① 研修セミナー・市民向け歴史講座

平成30年10月18日(木)

講師：米山淳一（当公益社団 常務理事）

演題：「開港五都市の歴史を生かしたまちづくり」

平成30年11月15日(木)

講師：吉田鋼市（当公益社団 副会長）

演題：「俣野別邸の施主と建築および建築の魅力」

平成31年1月17日(木)

講師：菅能孝(株式会社山手総合計画研究所代表取締役)

演題：「俣野別邸再建復元工事について」

平成31年2月21日(木)

講師：水沼淑子（当公益社団 理事）

演題：「湘南の邸園文化と俣野別邸」

平成31年3月14日(木)

講師：小沢朝江（当公益社団 社員）

演題：「歴史的建造物の保存活用～湘南別荘建築の魅力」

<コーディネーター：米山淳一>

② コンサートの企画・実施

平成29年度に続き、瀬川祥子さん(ヴァイオリン)と後藤泉さん(ピアノ)による「ヴァイオリンとピアノのデュオコンサート at 俣野別邸」を行った。

日 時：平成30年11月17日(土) 午後2時～3時30分

曲 目：ドビュッシー/ヴァイオリンとピアノのためのソナタ

ドビュッシー/月の光

グリーク/ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第2番

ト長調 作品13 ほか全6曲

参加者：50名

③ 「懐かしの鉄道おもちゃと絵本展」の企画

コレクターの関田克孝氏のご協力の下、ブリキのおもちゃ、絵本、絵本の原画などの展示イベントを企画した。諸事情により、平成30年度内の開催を延期し、令和元年(2019年)夏に実施することとなった。

(エ)旧ライジングサン石油横浜本社ビル回転扉歴史解説サインの制作

[マンション「エクステ山下公園」管理組合からの受託]

同マンション改修工事に伴い、同マンションエントランス部分に保存されている回転扉の歴史解説サインを新規に制作・設置した。

サイン全体の監修及び本文執筆は、当公益団体の吉田鋼市副会長が行った。

(2) 保全・活用事業

野毛都橋商店街ビル(横浜市中区)

平成29年度に、(公財)横浜市建築助成公社より寄贈を受けた「野毛都橋商店街ビル」の保全・活用を積極的に行った。日常管理を行っている横浜野毛商業協同組合と共同で、管理等に関し情報交換を行うほか、特に、映画・TVドラマでのロケ撮影に協力するなど、広く一般に歴史文化的価値をアピールした。

(3) 普及啓発、人材育成事業

セミナー・シンポジウム等の開催及び刊行物の作成

歴史を生かしたまちづくりを推進するためには、市民、専門家、企業等の理解や参加が大切である。歴史的資産の保全・活用のための普及啓発を目的としたセミナー等の開催及び刊行物の作成を、以下のとおり行った。

<自主事業>

① シルクロード・ネットワーク・鶴岡フォーラム2018

日 時：平成30年6月23日(土)

鶴岡市内絹文化等見学会、交流会

平成30年6月24日(日)

フォーラム(講演、事例報告)

主 催：公益社団法人横浜歴史資産調査会、
NPO法人 街・建築・文化再生集団(RAC)

共 催：鶴岡市

後 援：山形県、群馬県、一般財団法人大日本蚕糸会、上毛新聞社

講 演：富所弘充 氏(国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境整備室課長補佐)

梅津章子 氏(文化庁文化財部参事官付文化財調査官)

田中尹 氏(元・鶴岡織物工業協同組合理事長)

高谷時彦 氏(東北公益文科大学大学院特任教授)

事例報告：鶴岡市、新庄市、福島市、前橋市、川越市、小川町、日野市、
横浜市、千曲市ほか 代表者

コーディネーター：後藤 治氏(工学院大学理事長)

米山淳一(当公益社団 常務理事)

参加者：約120名

② 「コンサート in ヘリテージ～ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol.7～」 (第13回横浜山手芸術祭参加)

日 時：平成31年1月30日(水) 午後6時30分～午後8時

場 所：横浜市イギリス館<<横浜市指定文化財>>

ピアノ演奏：後藤 泉さん

解 説：長谷川 正英 氏(横浜市環境創造局)

曲 目：ベートーヴェン/ピアノソナタ第17番ニ短調 p.31-2「テンペスト」、モーツァルト/オペラ「魔笛」より序曲、
グリンカ～バラキレフ編/ひばり、ドビュッシー/喜びの島
他7曲

協 力：横浜市都市整備局

協 賛：株式会社三陽物産

参加者：約60名

③ 「ヨコハマヘリテージ・セミナー2019～開港都市の町並み保存のダイナミズム～」

日 時：平成31年3月20日(水) 午後6時30分～午後8時45分

場 所：横浜市開港記念会館 講堂

協 力：横浜市都市整備局、神奈川ヘリテージマネージャー協会

プログラム：

- ・挨拶 宮村 忠(当公益社団 会長)
- ・基調講演「インバウンド時代の開港都市と歴史文化遺産」
後藤 治氏(工学院大学理事長)
- ・パネルディスカッション
パネリスト：
妹尾正白氏(北海道教育大学キャリアセンター函館副センター長)
浜田有司氏(神戸市住宅都市局歴史的建造物・空家空地対策担当部長)
柿森和年氏(長崎の教会堂を世界遺産にする会事務局長)
菅 孝能氏(株式会社山手総合計画研究所代表取締役)
コメンテーター： 後藤治 氏
コーディネーター：米山淳一(当公益社団 常務理事)
- ・総括 中村 實 (当公益社団 監事)

参加者：約 70 名

※報告書については、令和元年度(2019 年度)に発行

④「ヨコハマヘリテイジ・ブックレット 3 横浜の茅葺き建築」作成に係る調査及び原稿案の作成

ヨコハマヘリテイジ・ブックレット 3 横浜の茅葺き建築」の発行に発行に向けて、原稿案を作成した。

なお、令和元年度(2019 年度)に、原稿案の編集及びレイアウト、印刷を行い、年度内の発行を目指す。

調査及び原稿案執筆：大野敏 (当公益社団 理事)

<受託事業>

歴史的建造物の保全活用に関する広報普及業務 [横浜市受託]

歴史的資産の保全・活用に関して市民、専門家、企業等からの理解や協力、支援を目指して、「歴史を生かしたまちづくりセミナー」の開催、「歴史を生かしたまちづくり 横濱新聞」の編集・印刷、「都市の記憶-横浜の土木遺産」復刻版の版下調整・印刷を行った。

①「歴史を生かしたまちづくりセミナー Vol. 41

いぶし銀のまちづくり～生活・文化の視点からまちを再評価～」

日 時：平成 30 年 7 月 15 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 4 時

場 所：横浜市開港記念会館 講堂

プログラム：

- 講演：「横浜の都市計画史とその遺産」 鈴木伸治(当公益社団 理事)
- 「戦後復興のなかの共同建築 闇市から防火建築帯・防災街区まで」 工学院大学准教授 初田香成 氏
- 「魅力ある港湾都市のあり方～海外の港湾都市と横浜の比較」
カローラ・ハイン 氏(デルフト工科大学教授)

クロストークセッション

パネリスト 初田香成氏、カローラ・ハイン氏

コーディネーター 鈴木伸治(当公社团 理事)

参加者：約 90 名

②「歴史を生かしたまちづくり 横濱新聞」第 34 号の編集・印刷

印刷部数は 2,000 部。市民、関係機関、当会会員等への配布を行った。

③「都市の記憶—横浜の土木遺産」復刻版の印刷・発行

印刷部数は 100 部。

2. 会員事業

当公益団体の事業の益々の発展を目的に、広く継続的な支援を得るために賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ会員の募集を行った。

併せて、賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ会員向け会報誌「ヨコハマヘリテイジ・スタイル」を年に 4 回（季刊）を発行するとともに、ホームページを通じて活動を広く発信した。

ヨコハマヘリテイジスタイル（A3 2 つ折り 4 ページ）

2018 夏号（平成 30 年 9 月 30 日発行）

巻頭ページ ご挨拶 宮村忠(当公益団体 会長)

2018 冬号（平成 30 年 12 月 28 日発行）

巻頭ページ 再建された俣野別邸 吉田鋼市(当公益団体 副会長)

2019 早春号（平成 31 年 2 月 15 日発行）

巻頭ページ 横浜山手はみんなの宝 米山淳一(当公益団体 常務理事)

2019 春号（平成 31 年 3 月 31 日発行）

巻頭ページ 馬車道に面する市認定歴史的建造物群
中村實（当公益団体 監事）

3. 収益事業

平成 30 年度においては、収益事業として以下の刊行物の販売を行った。

・「都市の記憶—横浜の主要歴史的建造物」

販売冊数：197 冊

・「ヨコハマヘリテイジ・ブックレット 2～ 港・鉄道・横浜」

販売冊数：90 冊

・「都市の記憶—横浜の土木遺産」※オリジナル版

販売冊数：13 冊

以 上